

今後の分析予定(案)

資料1

	項目	既存調査 の活用	実態調査 の実施
○年次有給休暇取得率			
1	年次有給休暇を取得しない理由(意識調査)	×	○
2	計画的付与制度との関係	○	
3	上司の年休取得率との関係	×	○
○自己啓発を行っている労働者の割合			
4	年次有給休暇との関係(意識調査を含む)	×	○
○女性の就業継続率			
5	企業規模との関係	○	
6	育児休業制度等の規定状況との関係	○	
7	長時間労働との関係(意識調査含む)	×	○
8	保育所定員との関係	○	
9	放課後児童クラブ登録児童数との関係	○	
10	女性が活躍できる職場環境との関係	○	
11	男性の育児休業取得率との関係	×	○
12	男性の育児・家事関連時間との関係	○	
○男性の育児・家事関連時間			
13	男性の長時間労働との関係	○※1	○
14	男性の家事・育児関連時間別の分布(ばらつき)	○※2	○
15	世帯単位での家事・育児関連時間(同上)	○※2	○
16	育児・家事への関わりが少ない男性の属性・意識(実態・意識調査)	×	○
17	第2子以降の生まれる割合	○	
○その他			
18	15～19歳、20～24歳の就業率(在学者を除いたもの)	○	

※1 分析データは、夫婦と子どもからなる世帯を対象としているが、子どもは年齢にかかわらず未婚の者である。

※2 分析データは、「夫婦と子供の世帯」のほか、「夫婦、子供と両親の世帯」及び「夫婦、子供とひとり親の世帯」の合計をもとに算出。